

本社阪神事務所

1 事務所概要

- ▶ 住所 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号
- ▶ 従業員数 クボタ430名、関連会社509名 計939名(2011年7月1日現在)
- ▶ 敷地面積 46,478.9m²
- ▶ 事務所建物



2 事業概要

- ▶ 事業内容 機械事業分野
水・環境システム事業分野
社会インフラ事業分野
教育・研修分野

- ▶ 主要製品
農業機械及び関連商品
膜システム・上下水エンジニアリング・ポンプ・自販機



3 事務所変遷(沿革)

平成14年(2002年) 本社阪神事務所竣工

4 環境方針

全社環境方針

1. すべての企業活動において環境保全に取り組みます
2. 地域社会との共生を図る環境保全に努めます。
3. 環境保全に計画的に取り組みます。
4. 環境管理を徹底します。
5. 環境コミュニケーションを積極的に推進します。

本社阪神事務所環境方針

1. 省エネルギーを推進し、CO₂排出量の削減、水資源の節約、廃棄物の再利用・排出抑制・再資源化に取り組み、ゼロ・エミッションを目指します。
2. 環境関連法規制及び当事務所が同意するその他の要求事項を遵守し、維持します。
3. 化学物質等の適正な管理を行います。
4. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2010年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO2の削減	CO2排出原単位	2008	▲4%	▲4.9%	◎	-
		CO2排出量	2008	▲4%	▲1.0%	×	在籍人員増加の影響他による
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2008	▲4%	▲31.9%	◎	-
	水資源の節約	水使用量原単位	2008	▲2%	▲4.2%	◎	-

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 ×:目標未達成

注)環境保全中期計画のCO2排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO2排出係数を使用しています。

環境 TOPICS

「省エネ・環境貢献」を考えた設備を積極的に採用しています。



[太陽光発電システム]

●基本仕様

設置容量: 60kW

太陽電池: 薄膜シリコンハイブリッド

・「発電した電力は所内にて消費され、節電に役立っています。」



[厨房排水処理中水設備]

●基本仕様

計画汚水量: 30m³/日

処理方式: 膜分離活性汚泥方式

・「処理水は、トイレの洗浄水、所内植栽への散水に利用し、節水に努めています。」



[実験棟排水処理設備]

●基本仕様

計画汚水量: 10m³/日

処理方式: 膜分離活性汚泥方式

・「実験排水を、膜分離装置にて高度処理し、下水に放流しております。環境負荷低減に努めています。」

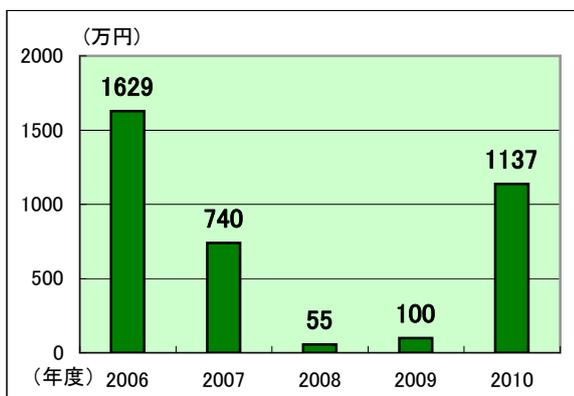
本社阪神事務所

6 環境会計

① 環境保全設備投資

2010年度： 1,137万円

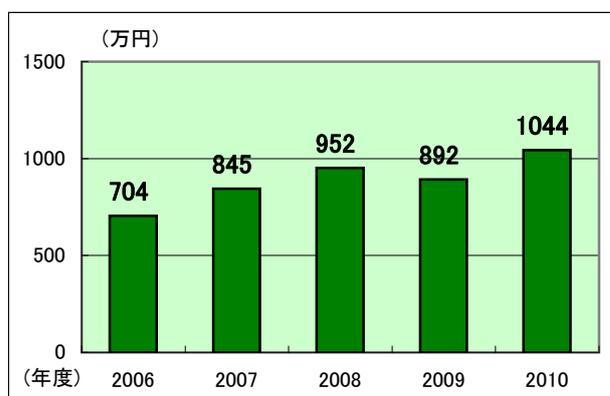
- ・1号館空調設備として、高効率のガスヒートポンプを設置し、ガス使用量の削減を図っています。
- ・実験棟排水処理設備の汚泥分離槽を更新しています。



② 環境保全費用

2010年度： 1044万円

事業所内グリーンメンテナンス、排水処理設備メンテナンス、廃棄物処理費用を含んでいます。



③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2009年度	2010年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	42,908	42,884	▲ 24	99.9%
	水使用量(m ³)	26,814	26,752	▲ 62	99.8%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)(エネルギー起源)	1,655	1,443	▲ 212	87.2%
	SO _x 排出量(t)				
	NO _x 排出量(t)				
	ばいじん排出量(t)				
	PRTR対象物質排出・移動量(t)				
	廃棄物排出量(t)	35	59	24	168.6%
廃棄物埋立量(kg)	1,171	1,125	▲ 46	96.1%	

※2010年度の廃棄物排出量の増加は、過去数年保管した書類を廃棄したことによります。

④ 経済効果

2010年度： 386万円

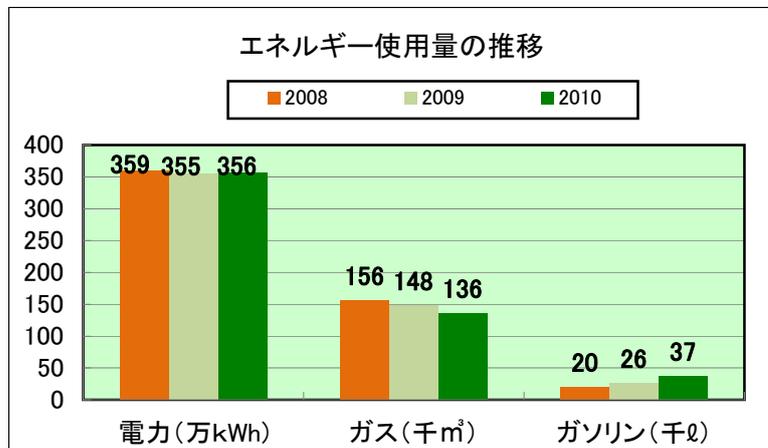
分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	水のリサイクル「中水の利用(トイレ洗浄及びグリーン散水用)	236 万円
	自動消灯(昼休み時)、個別エアコン自動停止(18時以降)、カップ自販機一部撤去、省エネ自販機への更新等	150 万円
合計		386 万円

7 環境パフォーマンス

① 地球温暖化の防止

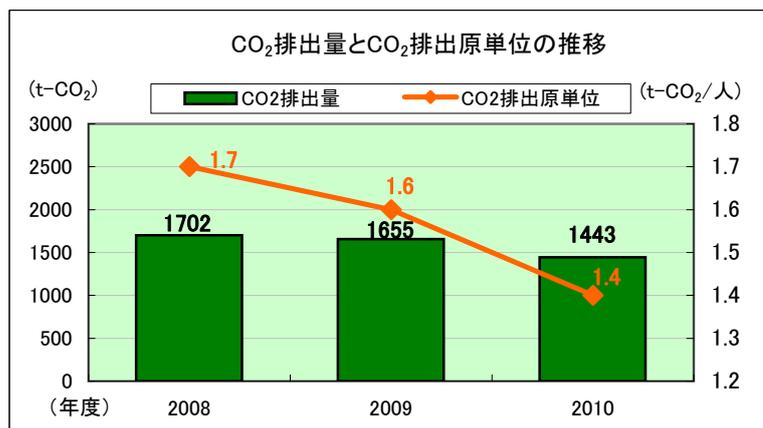
省エネルギー活動

省エネルギー機器の導入、空調の室温管理の徹底を推進しています。



CO₂排出量の削減

CO₂排出量を2009年度比13%削減しました。



注: CO₂原単位=CO₂排出量÷従業員数

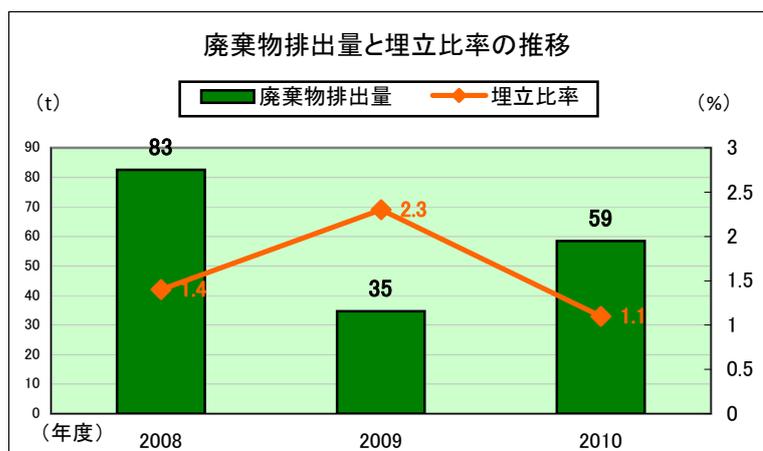
② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

紙ゴミの増加、中水処理設備の余剰汚泥増加等により、廃棄物増加となっています。

ゼロ・エミッション化

リサイクル処理可能な中間処理業者の選定等埋立比率の低減に努めた結果、埋立比率は前年度比1.2ポイント減少しています。



注: 2006年度 埋立比率(%) = 埋立量 ÷ 廃棄物排出量

2007~2010年度 埋立比率(%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

8 環境コミュニケーション

① 地域の皆様との交流・美化活動

◎ 名 称 尼崎市小田地区わがまちクリーン運動

日 付 2010年5月27日

参加人数 25名

地域清掃活動の実施



◎ 名 称 クボタ eプロジェクト活動（武庫川河川敷）

日 付 2010年7月11日

参加人数 126名

武庫川河川敷清掃活動の実施



② 環境省ライトダウンキャンペーンに参加

環境月間には、環境省主催のライトダウンキャンペーンに参加し、ビルの広告灯等消灯しています。期間中1,683Kwの節電となっています。



本社阪神事務所

9 サイトデータ

▶ INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	1,106
----------	---------	-------

水使用量	万m ³	2.68
------	-----------------	------

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,443
---------------------	-------------------	-------

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				特定施設なし	測定値
下水道		pH	—	—	6.85
		BOD	mg/l	—	1.4
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	1.83

廃棄物排出量	t	58.5
埋立比率	%	1.1